



根室産の水産加工食品に強い興味を示すバイヤー

シアの日本産食品の輸入販売商社や高級ホテルなど、7企業のバイヤーが招かれ、イースト・ハーバー・ホテル内に設置された地元出展

アジアへの販路拡大に手ごたえ

―水産物・食品輸出商談会 in 根室 6/7〜8―

アジアの新興国市場で根室産品の認知度や信頼性の向上を図ることを目的に、市アジア圏輸出促進協議会などが共催し「水産物・食品輸出商談会 in 根室」と銘打ち、アジア5カ国からバイヤーを招いて商談会が開かれました。

初開催となった商談会には、中国、フィリピン、シンガポール、タイ、マレー



根室管内から15の企業が参加した商談会

企業のブースを、バイヤーが回る形式で行われました。商談の席上では、バイヤーから「根室産のサンマを買いたい。」と、求める声もあり、周辺諸国での根室産サンマのブランドイメージの定着と、認知度の高さを感ずることができました。

商談会を終えて、長谷川市長から「これから各国との取り引きが、拡大することを期待している。」と話し、参加した地元企業からは「期待の持てる商談だった。これを機に具体的な取り引きに進んでくれれば。」と、商談の手ごたえを感じていました。



災害備蓄品のアルファ米をさっそく調理

市内小中学校では、初めてとなる避難所開設訓練を含めた防災訓練が、落石中学校で実施されました。

落石中学校は標高47メートルに位置し、大津波にも対応する高台として落石地区の避難所に指定されており、今回の訓練では、市と警察署、消防署の協力のもと、大地震発生に伴う津波警報発令を想定して避難訓練やけが人の救護と、避難所として地域住民を受け入れるため、災害備蓄品の保管場所の確認や発電機の使用法、非常食の炊き出しなどを行いました。

生徒たちは2班に分かれて

避難所は私たちに任せて！

―落石中学校防災訓練 6/13―



防災担当者から発電機の使用法を学ぶ

担当者からの説明に真剣に耳を傾け、心肺蘇生方法やAEDの使用法、教室を使用し、火災時の煙を擬似体験。非常食の炊き出し訓練では、乾燥させることで長期保存が可能なアルファ米と、5年間賞味可能な豚汁の調理を行った後、生徒たちで試食が行われ「おいしい。給食に出してほしいくらい。」といった声が上がするなど、味も好評な様子でした。

今回の防災訓練を通して、生徒は地域の避難所としての役割を学ぶとともに、日ごろからの防災意識の大切さを実感していました。



旬の味、特産品に舌鼓

―第6回おちいし・味まつり 6/3―

―マリンポートフェスティバル実行委員会が主催する「第6回おちいし・味まつり」が、落石漁港中央埠頭で開催され、多くの市民や観光客が詰めかけました。

会場は、シロサケやベニサケなどの旬な魚介類を買い求める人たちで行列ができ、開場前からにぎわいを見せ、炭火焼コーナーでは、買ったばかりの魚介類を焼いて味わうなど落石の味覚を満喫。

また、ステージでは「ホッキ貝員早むき競争」や「カラオケのど自慢」など、さまざまな催しが行われ、会場からは歓声が上がするなど、来場者は落石の魅力余すことなく堪能した一日となりました。